

R
RITSUMEIKAN立命館大学法学部
同窓会報

存心館

発行・文責：立命館大学法学部同窓会

発行住所：〒603-8577

京都市北区等持院北町56-1

立命館大学法学部事務室内

電話：075-465-8175 (直)

Eメール：law-alum@st.ritsumei.ac.jp

<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/law/law-alum/>

2019年度法学部同窓会第20回記念総会・懇親会・講演会 報告

今回は第20回記念総会として会場を京都から移し、『未来に生きる絆～多様性と出会うTOKYO～』と題して、帝国ホテル東京で行われました。

講演会は、京料理『木乃婦』三代目主人の高橋拓児氏に『法と日本料理』と題して、ユーモアを交えながらわかりやすく話して頂きました。

(要旨は次ページをご参照ください)

高橋氏は、1991年立命館大学法学部卒業後、東京の『吉兆』で5年間修業、故湯木貞一氏に直接薫陶を受けられ、その後、京都に戻り、85年続く料亭『木乃婦』の三代目を継がれることになりました。京都大学大学院農学研究科食品栄養学科修士課程を修了され、現在は龍谷大学農学研究科博士後期課程に在籍されています。

講演会

R 立命館大学法学部同窓会 第20回記念総会

パネル ディスカッション

高橋拓児 氏 (1991年卒)
京料理「木乃婦」三代目主人

荒川雄二郎 氏 (1994年卒)
弁護士法人「北浜法律事務所」東京事務所
代表社員・パートナー弁護士

米倉輝 氏 (1995年卒)
「エレコム神戸ファイニーズ」監督
「立命館大学アメリカンフットボール部」前監督

詳細については同窓会Webサイトに掲載いたします

講演会

演題 法と日本料理

講師 高橋拓児氏

日本料理の型、「型」というのは法律の仕立てとよく似ており、過去の食文化（判例）に基づき、新しい料理を型（法律）と照合し、皆に認められた場合にのみ日本料理となつて、日本食文化の範疇が拡張していくそうです。



法に則って盛り付ける八寸、焚合など、調理の五法をちりばめることで彩りを添え、型通りに進めると誰が見ても日本料理のスタイルとして出来上がります。日本料理も型を決めるために何が重要か、海外との料理の差別化をすることが大切になります。フランス料理、イタリア料理との差別化、世界の料理とは違う独自性を持っていく。日本料理はこうあるべきか決め、そして発展させていくことが重要なポイントだということです。



日本料理の基礎は精進料理ですが、精進料理は一食当たり500kcal程度、3食、食べても、50代成人男性の基礎代謝とはほぼ一緒の1500kcal。肉や魚を食さない精進料理は、食と生命の関係を分かりやすく説く食事の法律です。



料理を作る中でも背景が必要になります。金閣寺、南禅寺、平安神宮、どこでどなたに料理を提供するかという条件によって、お出しする料理の内容が変わってきます。アメリカ、マレーシア、インドなどの異文化を持つ様々な国の方に、ビーガン、ハラールなどの宗教的な食の違いなどを踏まえ、それらの嗜好性と照らし合わせた料理を提供します。加えて、どこで料理を提供するかもとても大事なことです。日本料理の法律自体を海外の法律に照らし合わせて変えて料理を作っていく。海外で作る日本料理の方が数段難しくなるそうです。



次に料理の「表現」ですが、これは日本料理人にとって、「型」、「背景」、「所作」を意識したうえで最終的に大変重要なものです。それぞれのパーツを重ね合わせて最終的に自己表現することをしていかななくてはなりません。自己表現として大切なものは、法律、法則の範囲内で新しい法律、新法則を見つけていくことです。所謂、オリジナリティです。通常、京都の八寸は春先には鯛の昆布メの棒寿司が



定型のようですが、八寸にトロのにぎりを提供したり、フカヒレを使ったり、豊かな発想で練り出すのは従来の概念に縛られない独自性のある京料理の真骨頂です。しかし根底にあるのは定型の型、盛り付けの基本を変えず、奥は高く、手前は低く、左は高く、右は低く。基本を押さえた上にしか成立しません。基本のできていない料理は創作料理ということになります。



「室礼」（しつらえ）という言葉があります。床の間に掛け軸や広い客室、そして庭などです。これらがあることで器に盛られた料理の世界が大きく広がり、ただの食べ物に深い情緒を与えます。この日本独自の室礼が外国料理との差別化を図る手段にもなっています。室礼によって料理を高度な領域まで際立たせているのです。



高橋氏は世界と競争することを常に頭に入れてやっておられるとのこと、日本食の文化についてもできる限り世界に根付かせようと考えられているそうです。できるだけ日本料理の存在を海外へ知らしめながら、日本料理の領土を広げて、普及していく、それぞれの料理人自体が自主的に尚且つ合理的に平和的に法律を使いながら、法改正しながら、品位と食文化に携わる者の責任感を持って行動を進めていく。そうすれば海外の人々も日本料理に対する尊敬の念を抱き、日本食文化を世界に根付かせることができると言われています。そのために日本料理アカデミーという団体を作り、日本料理の世界遺産登録を進めることや、京都市の条例にある外国人の日本料理研修期間を3年から5年に変更といったことなどにも取り組まれているとのこと。



最終的には調和の美が大切で、大学で法律を勉強、料亭で料理、他大学で科学的に学んだ経験を踏まえ、高い美意識と高い志と信念が調和を生み出すと熱く語られ、講演を締めくくられました。



総会・パネルディスカッション・懇親会

2019年7月7日（日）第20回記念総会・講演会・懇親会 開催

総会



総会

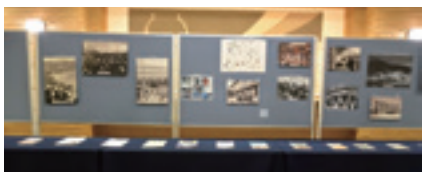
総会は鬼籍に入られた方々へ参加者全員の黙祷で始まり、続いて平林幸子法学部同窓会会長の挨拶、来賓紹介後、来賓を代表して仲谷善雄総長より2020年学園創立120周年、法学部も記念すべき設立120周年を迎えることを念頭に、大変熱の入った挨拶をいただきました。議事では各種報告、新役員人事案を含む各種議案が承認されました。

基調講演・パネルディスカッション

総会後は、『木乃婦』三代目主人の高橋拓児氏から基調講演をいただき、引き続き、スポーツ指導者としてご活躍の米倉輝氏、気鋭の弁護士荒川雄二郎氏に加え、竹内美奈子法学部同窓会副会長をコーディネーターとしてパネルディスカッションが行われました。

懇親会

懇親会では、佐藤友美子大阪校友会会長による挨拶の後、全員で校歌斉唱、続いて徳川信治法学部長による乾杯と祝辞が述べられました。過去最高の267名の参加者で和やかに懇親会がスタートしました。懇親会では、1999年法学部卒で新日本プロレス所属の棚橋弘至選手、現役法学部学生の規矩琴香



展示ブース

さんからのビデオレターも流れる中、旧知の友と思い出話に花を咲かせ、懐かしの先生方との再会を果たし、興奮冷めやらぬご様子の皆様でした。楽しいひと時はあっという間に過ぎ、名残は尽きぬままお開きとなりました。



懇親会

学部長だより



法学部同窓会第20回記念総会が盛会となりましたこと、心よりお祝い申し上げます。16年ぶりの東京、帝国ホテルでの開催は、267名というこれまでにない多くの卒業生の皆様、名誉教授の皆様にご参加いただき、現任教員も加わって旧交を温め、また新たな出会いの場ともなったことと存じます。

近年、法学部同窓会を軸とした卒業生の皆様のネットワークが構築されようとしております。例えば、東京、大阪、京都を結んだ『ほう！ Rit's (法律)』(連続法律セミナー)の取り組みは、卒業後の学びたいという気持ちを掻き立てる試みの一つです。また、法学部現役学生の優秀論文執筆者等に対する法学部同窓会賞の創設やキャリア形成支援等、法学部同窓会・同窓会員による現役学生への支援の取り組みも生まれています。

こうした横と縦のつながりの強化は、ますます現役学生を励ますこととなり、立命館大学法学部での学びの質を高めることにつながります。

今日、立命館大学法学部は、多くの受験生を集めています。来年120周年を迎える立命館法学部の評価は、皆様が歩んでこられた道のりに対する社会による評価の到達点です。立命館大学法学部が人生という大海原で航海をするにあたってふさわしい港であること、その到達点に惹かれて現在の学生が集っているのです。

こうして築かれた港をより一層充実させるため、私も教職員は一丸となって教育・研究に邁進し、またさらなる到達点を築く担い手、皆様の後輩を送り出したいと思っております。皆様の歩みに法学部を代表して敬意を表しますと同時にこれからも立命館大学法学部を見守ってくだされば光栄に存じます。

法学部長 徳川 信治

ゼミ同窓会開催報告

(2019年2月～2019年7月実施分) ゼミ同窓会を中心に、同窓会事務局に実施報告のあったものを掲載)



ゼミ同窓会 今年度も、多くの個性あるゼミ同窓会等が開催されました。

本山ゼミ同窓会

2019年2月2日(土)
京都市内レストラン/9名



岸本ゼミOB会

2019年2月16日(土)
京都タワーホテル/53名



法学部竹濱会 第5回会員交流会

2019年2月23日(土)
東京都内会議室/23名



第43回立命館大学法学部商法塩田ゼミOB会

2019年7月6日(土)
京都ホテルオークラ/28名



田村会2019 IN 東京

2019年7月7日(日)
ホテルメルパルク東京/41名



立命館大学上田寛刑法・犯罪学ゼミ会

2019年7月7日(日)
ビヤケラー東京/12名



法学部同窓会の「ゼミ同窓会への活動補助制度」について

法学部同窓会では、法学部校友のネットワークの発展、相互交流の活発化の一助として、「ゼミ同窓会への活動補助制度」を設けていますので、ぜひご活用ください。詳しくは、同窓会 Web サイトをご覧ください。

また、ゼミ同窓会の開催案内については、随時、同窓会 Web サイトに掲載しています。会報『存心館』への開催告知を希望される際は、法学部同窓会事務局までご連絡をお願いいたします。次回の発行予定は2020年3月です。次号への掲載についての、掲載申請締切は2020年1月10日(金)です。

これからの同窓会

- 2019年11月17日(日) 「衣笠学園祭企画」
今年も同窓会無料喫茶スペースを開設予定です
- 2019年12月7日(土) 「忘年会」
会場：がんこ高瀬川二条苑 時間：17時開宴予定
- 2020年4月 「お花見会」
企画詳細は決まり次第、同窓会Webサイトに掲載します

2020年、法学部同窓会は
設立20周年を迎えます

2020年総会は、京都にて、
2020年7月5日(日)開催予定です

お申し込み、お問い合わせは立命館大学法学部同窓会事務局へ

電話 **075-465-8175** (法学部事務室内) 平日 **9時～17時30分**

Eメール：law-alum@st.ritsumei.ac.jp

同窓会企画の詳細や申し込み方法は、
同窓会 Web サイトに随時掲載していきます。

立命館大学法学部同窓会

検索

